

24.7.13

- それぞれの夏休みに -

梅雨明けも間近になってきました。今年の暑さはどうなのでしょう。この時期になると毎年なのですが、熱中症がニュースになり始めています。水分補給など体調管理は各々で体の声を聞いて調整しましょう。

さて、先週は市内大会を見て回りました。結果はそれぞれですが、みんな精一杯プレーしていました。勝ち上がっている者はさらに上をめざして、今回負けた者は次のステージめざして、それぞれにまた挑戦です。一つの区切りではあるが、チャンスはまだあります。

勝者は一人、一チームしかありません。と言うことは、あたり前ですがそれ以外の人、チームは負けるんです。最後の一つに残るから価値があるんです。勝者の栄冠です。

でも考えて下さい。ほとんどの人、チームはどこかで負けてしまうんです。ということは、負けてからの生き方、考え方が大切なんです。その負けを次にどうつなげていくのか。そこがポイントです。

ここから先の話は、クラブに入っている人、いない人関係ありません。みんなに考えて欲しいことです。一応、体育系と言われるクラブでも文化系と言われるクラブでも、あるいはクラブに入っていないくてもすべてのみんなに共通して言えることは、何でも「諦めずやり続ける」ということです。ゆっくりでもいいんです。すぐに結果が出るわけではありません。君たちはまだ中学生です。先は長いんです。急がず、しかし止まらずです。ゆっくりでも歩み続けることに意味があるんです。

「歩」むという字は「止」まるを「少」なく、と書きます。ちょっとずつ、ちょっとずつでも止まらず進むことです。

一があり二、三、四と続いて九（苦）のあとに十の喜びがある。そんなふうと言う人もいます。

「継続は力なり」とも言います。

「挑み続けることこそが、後悔を越える生き方だ」

「くりかえしくりかえし、私は磨き続けていく」というアスリートもいます。

最後に、「運命を変える方法はひとつしかありません。それは“言葉”と出会うことです」という人もいます。はじめに言葉ありき。

自分にあった、発憤させてくれる、元気がでてくる、そんな言葉を探し

て、自分で自分の心を燃やし続けましょう。止まらず歩んで行きましょう。  
明日の自分のために。